

## 地域材の活用に向けた人材育成研修会(第1回)について

1. 開催日時 平成23年10月27日(木) 午後7時10分～午後8時
2. 開催場所 工業技術センター 2F会議室
3. 参加人数 36名
4. 研修会の概要
  - ・ 地域材の活用に向けた人材育成研修会の第1回目
  - ・ (地独)北海道立総合研究機構林産試験場 北橋研究職員、河原崎研究主任の講演が行われた。
  - ・ 北橋研究職員からは「木材乾燥に関する基礎知識」と題し、「天然乾燥と人工乾燥の違い」や「含水率」の計算方法、市営住宅施工事例などの説明があった。
  - ・ 河原崎研究主任からは「道産材を用いた木質防火材料(事例紹介)」と題し、公共建築物において防火材料を使わなければならない箇所(法的規制)、防火材料の種類、駅舎内装などの施工事例、木質防火材料として本州のスギ材と道産材の比較などの説明があった。
  - ・ 長谷川川下部会長進行のもとで、意見交換を行った。
5. 意見交換
  - ・ 以前、カラマツを使った住宅を建てたことがあるが、きちんと乾燥すれば構造材として使っても問題はない。設計材料としては使えるが、工務店には誤解や抵抗感はかなりある(設計士より)。
  - ・ 乾燥をしっかりとすれば、内装材としての可能性も十分増えていくのではないか。
  - ・ 不燃・準不燃・難燃材料の認定をとるときは、厚みごとに検査が必要(手続きが多少煩雑になるが範囲での認定もできる、試験研究機関にノウハウはある)。



<長谷川部会長による挨拶>



<講演された北橋氏、河原崎氏>



<研修会の様子>



<施工事例紹介の様子>